

ICカード・ラベル
発行システム
券面作成ソフトウェア
ユーザーガイド

- Microsoft、Windows、および Excel は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他の社名、または商品名等は各社の登録商標または商標です。

Microsoft Corporation の許可を得て画面写真を使用しています。

コンピューターウイルスや不正侵入などによって発生した障害については、弊社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- このマニュアルの編集、変更、または無断で転載はしないでください。
- このマニュアルに記載されている内容は、将来予告なしに変更されることがあります。
- このマニュアルに記載されている画面やイラストは一例です。ご使用の機種やソフトウェア、OS のバージョンによって異なることがあります。

本書は富士ゼロックスブランドの商品を含みます。富士ゼロックスブランドの商品は、米国ゼロックス社からライセンスを受けている商品です。商品提供者は富士フイルムビジネスイノベーション株式会社です。

Xerox、Xerox ロゴ、および Fuji Xerox ロゴは、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。

FUJIFILM、および FUJIFILM ロゴは、富士フイルム株式会社の登録商標または商標です。

DocuWorks は、富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の登録商標または商標です。

本書の使い方

本機を使用する前に必ずこのマニュアルをお読みください。このマニュアルは、読み終わったあとも必ず保管してください。

本書の構成

本書の構成は、次のとおりです。

1 ICカード・ラベル発行システムの概要

ICカード・ラベル発行システムでできることや動作環境について説明しています。

2 セットアップ

プリンターの設定や、ソフトウェアのインストールについて説明しています。

3 券面作成ソフトウェア

券面作成ソフトウェアの操作手順を説明しています。

4 こんなときには

トラブルが起きたときの対処方法を説明しています。

本書の表記

- 機械のソフトウェアのバージョンによって、本書に記載している画面が、お使いの機械と異なる場合があります。
- お使いの機械の構成によっては、画面に表示されない項目や使用できない機能があります。
- 本文中の「コンピューター」は、パーソナルコンピューターやワークステーションの総称です。
- 本文中では、説明する内容によって、次のマークを使用しています。

注記

- 必ず知っておいていただきたい情報、操作するときには必ず確認していただきたい情報を記載しています。

補足

- 操作の参考になる情報を記載しています。

参照

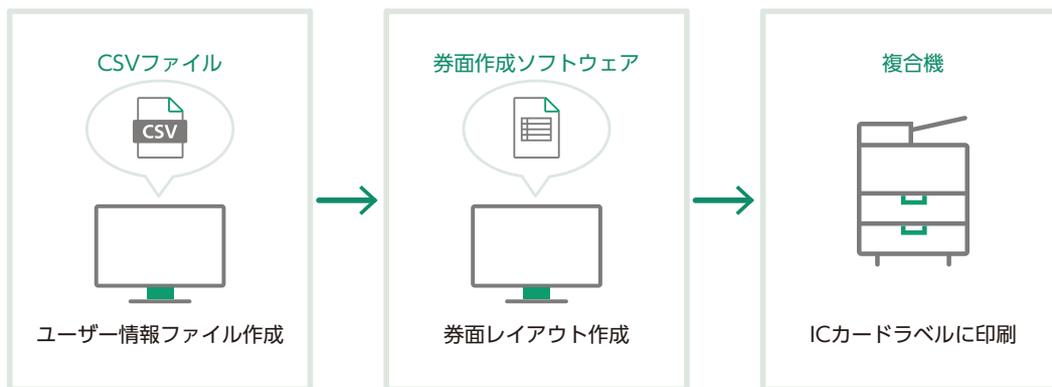
- 参照先を記載しています。
- 本文中では、次の記号を使用しています。

- | | |
|---------|--|
| 「 」 | <ul style="list-style-type: none">• 本書内にある参照先を表しています。• 機能の名称やタッチパネルディスプレイのメッセージ、入力文字列などを表しています。 |
| 『 』 | <ul style="list-style-type: none">• 参照するマニュアルを表しています。 |
| [] | <ul style="list-style-type: none">• 機械のタッチパネルディスプレイに表示されるボタンやメニューなどの名称を表しています。• コンピューターの画面に表示されるメニュー、ウィンドウ、ダイアログボックスなどの名称と、それらに表示されるボタンやメニューなどの名称を表しています。 |
| < > | <ul style="list-style-type: none">• 機械の操作パネル上のハードウェアボタンを表しています。 |
| < > | <ul style="list-style-type: none">• コンピューターのキーボード上のキーを表しています。 |
| > | <ul style="list-style-type: none">• 機械の操作パネルで順に項目を選択する手順を、省略して表しています。• コンピューターで順に項目をクリックする手順を、省略して表しています。• 参照先を省略して表しています。 |

1 ICカード・ラベル発行システムの概要

1.1 ICカード・ラベル発行システムでできること

ICカード・ラベル発行システムは、オフィス向け複合機、またはプリンターで、複合機の認証に使えるICカードを作成できるシステムです。レイアウトファイルとユーザー情報ファイルをもとに券面を作成して、ICカードラベルに印刷します。



補足

- ICカードの作成には、ICメモリーを内蔵した弊社製の専用用紙（ICカードラベル2つ折り、またはICラベル）を使用します。本書では、これらを総称して「ICカードラベル」と表記します。

券面作成

用紙サイズを指定し、画像や文字をレイアウトした券面を作成できます。

社名やロゴなどすべての券面に共通で印刷される項目や、ユーザー情報ファイルから読み込む各ユーザーの情報（名前、顔写真など）を配置できます。

作成した券面レイアウトは、プレビューで確認できます。

一度作成した券面レイアウトはファイルに保存でき、繰り返し使用できます。

印刷したICカードを複合機に登録することで、認証用カードとして利用できるようになります。

補足

- ICカードの登録には、複合機に搭載されている「ICカード登録ツール」をご利用ください。

1.2 セットアップする前に

IC カード・ラベル発行システムをセットアップする前に、動作環境を確認してください。

動作環境

本機能は、次の環境で動作します。

- プラットフォーム Microsoft .NET Framework 3.5 SP1
- USB ポート USB2.0 2 ポート以上
バスパワーポートごとに 500 mA 供給可能

Microsoft .NET Framework 3.5 SP1 については、券面作成・エンコードソフトウェアの CD-ROM にある、driver/dotnet/dotnetfx35.exe を実行してください。
詳細は、マイクロソフトの公式サイトを参照してください。

<http://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=25150>

対応 OS

対応 OS については弊社公式サイトをご覧ください。

2 セットアップ

2.1 プリンターを登録する

複合機に付属している、メディア（「ソフトウェア / 製品マニュアル」）を準備してください。

注記

- 付属のメディアがない場合は、販売店に連絡してください。
- ICカード・ラベル発行システムを使用する、すべてのコンピューターに対してプリンターを登録してください。
- インストールには、管理者権限が必要です。
- ICカード・ラベル発行システムの対象機種については、弊社の公式サイトを参照してください。
- 次の場合でも、ICカードラベルに合わせた複合機を新規に登録する必要があります。必ず下記の手順を実施してください。
 - 既存の複合機を使用している場合
 - どこでもプリントやサーバーレスプリントの対象複合機を使用する場合

補足

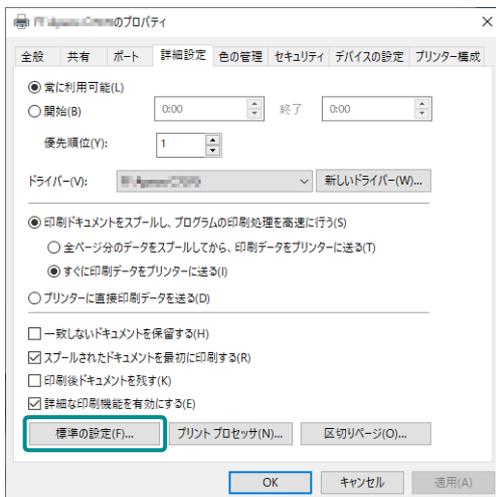
- ICカード・ラベル発行システムでは、弊社製の専用用紙を使用します。この専用用紙は、手差しトレイを使用することを前提としています。

ドライバーをインストールする

1. メディアを CD-ROM ドライブにセットします。
2. メディアに格納されているマニュアルを参照し、ドライバーをインストールしてください。

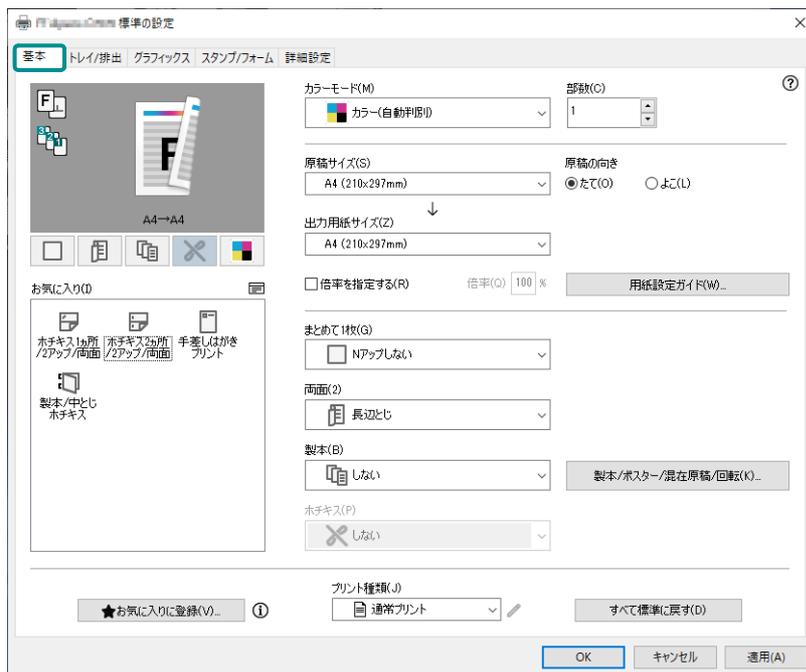
プリンターのプロパティを開く

1. Windows のスタートボタンから、[Windows システムツール] > [コントロールパネル] > [ハードウェアとサウンド] > [デバイスとプリンター]を開きます。
2. インストールしたプリンターを右クリックし、メニューから [プリンターのプロパティ] を選択します。
3. [詳細設定] タブを選択します。
4. [標準の設定] をクリックします。

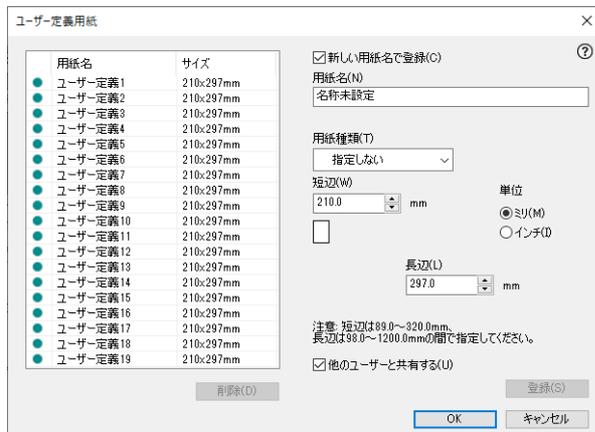


[基本] タブの項目を設定する

1. [基本] タブを選択します。



2. [原稿サイズ] で [ユーザー定義用紙] を選択し、2 連用紙、またはシングル用紙を以下の操作で登録します。



1) [新しい用紙名で登録] にチェックマークを付けます。

2) [用紙名] に、以下のように入力します。
2 連用紙の場合：「IC カードラベル・2 連」
シングル用紙の場合：「IC カードラベル・シングル」

3) [短辺] に、以下を入力します。
2 連用紙の場合：148 mm
シングル用紙の場合：132 mm

4) [長辺] に、以下を入力します。
2 連用紙の場合：264 mm
シングル用紙の場合：148 mm

5) [登録] を選択します。

6) [OK] をクリックします。

3. [原稿サイズ] / [出力用紙サイズ] で手順 2 で登録した 2 連用紙、またはシングル用紙を選択します。



4. [原稿の向き] で次の設定をします。

- 2 連用紙の場合：[よこ原稿] にチェックマークを付けます。
- シングル用紙の場合：[たて原稿] にチェックマークを付けます。

5. [両面] で [しない] を選択します。

[トレイ / 排出] タブの項目を設定する

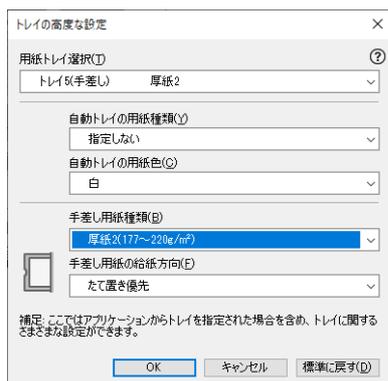
1. [トレイ / 排出] タブを選択します。



2. [用紙トレイ選択] で [トレイ 5 (手差し)] を選択します。

3. [トレイの高度な設定] をクリックします。

4. 次の操作をします。



1) [手差し用紙種類] で [厚紙 2] を選択します。

2) [手差し用紙の給紙方向] で次の設定をします。

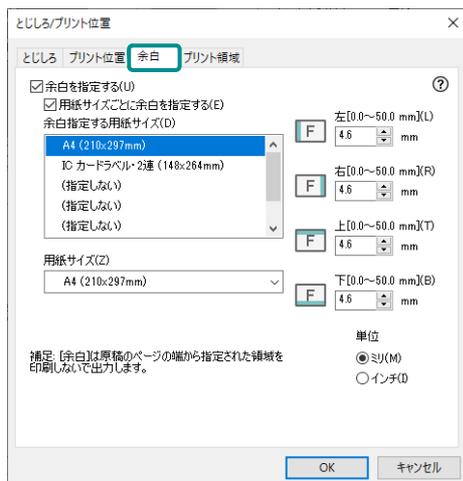
- 2連用紙の場合：[たて置き優先]
- シングル用紙の場合：[よこ置き優先]

3) [OK] をクリックします。

[手差し設定] ダイアログボックスが閉じます。

5. [とじしろ / プリント位置] をクリックします。

6. [余白] タブを選択し、次の操作をします。



1) [余白を指定する] にチェックマークを付けます。

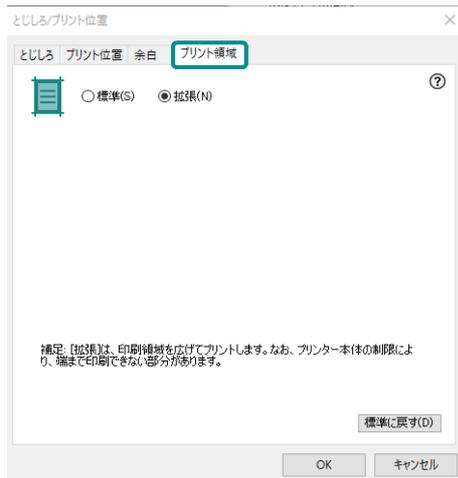
2) [用紙サイズごとに余白を設定する] にチェックマークを付けます。

3) [余白を指定する用紙サイズ] で [(指定しない)] を選択します。

4) [用紙サイズ] で、2連用紙の場合は [ICカード・ラベル2連 (148×264mm)]、シングル用紙の場合は [ICカード・ラベルシングル (132×148mm)] を選択します。

5) 余白をすべて [0.0] mm にします。

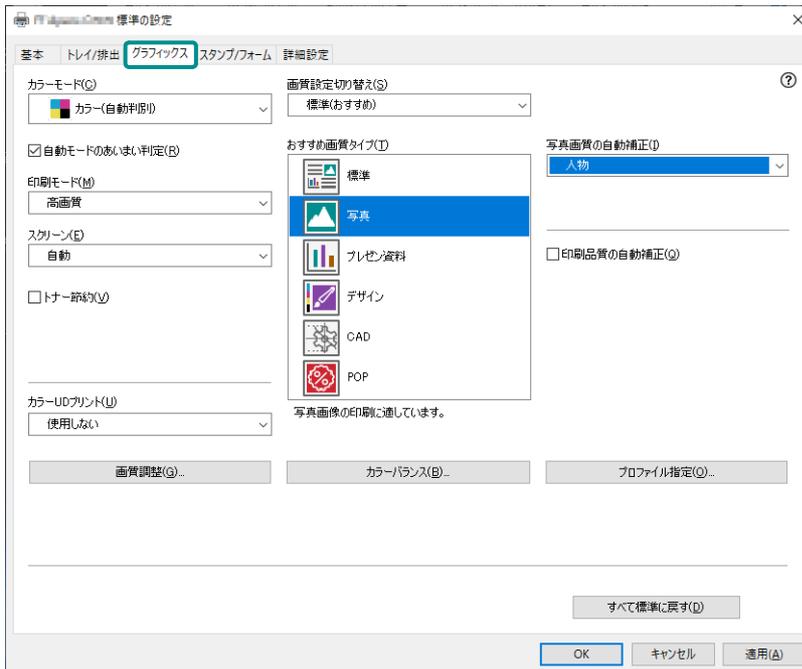
7. [プリント領域] のタブを選択し、拡張を選択します。



1) [OK] をクリックします。

[グラフィックス] タブの項目を設定する

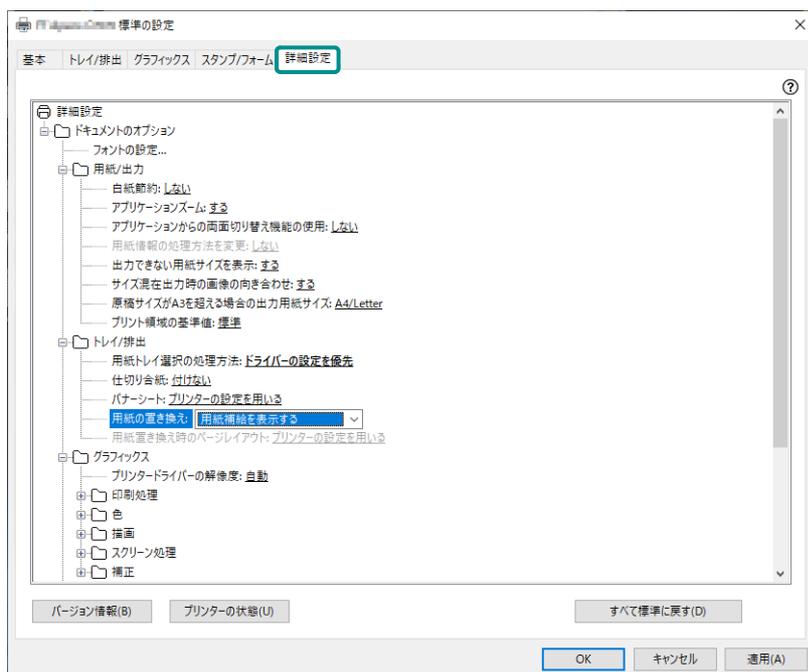
1. [グラフィックス] タブを選択します。



2. [カラーモード] で [カラー (自動判別)] を選択します。
3. [自動モードのあいまい判定] にチェックマークを付けます。
4. [印刷モード] で [高画質] を選択します。
5. [画質設定切り替え] で [標準 (おすすめ)] を選択します。
6. [おすすめ画質タイプ] で [写真] を選択します。
7. [写真画質の自動補正] で [人物] を選択します。

[詳細設定] タブの項目を設定する

1. [詳細設定] タブを選択し、各項目の左側にある [+] をクリックして展開します。



2. [用紙トレイ選択の処理方法] で [ドライバーの設定を優先] を選択します。
3. [用紙の置き換え] で [用紙補給を表示する] を選択します。

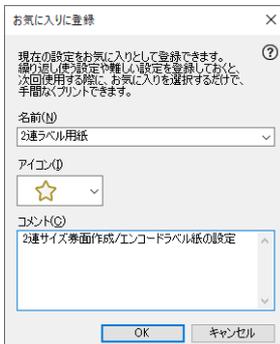
印刷設定を保存する

1. プリンターの標準の設定画面で各項目を変更したあと、[基本] タブを選択します。



2. [お気に入りに登録] をクリックします。

3. 次の設定をします。



1) [名前] に、任意の名前を入力します。

名前から使用するサイズがわかるように、「2 連ラベル用紙」または「シングルラベル用紙」に設定することをおすすめします。

2) [アイコン] のプルダウンメニューから、お好きなアイコンを選択します。

3) [コメント] に、任意のコメントを入力します。

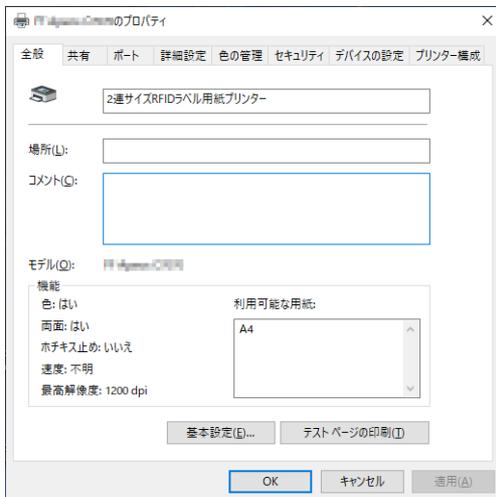
用紙サイズがわかるように、「2 連サイズ券面作成 / エンコードラベル紙の設定」、または「シングルサイズ券面作成 / エンコード用ラベル用紙の設定」のように入力することをおすすめします。

4) [OK] をクリックします。

4. [OK] をクリックします。

プリンターの設定を保存する

1. [全般] タブを選択します。
2. 次の設定をします。



- 1) プリンター名の欄に任意の名前を入力します。

プリンター名からサイズがわかるように、[2連サイズ RFID ラベル用紙プリンター] または [シングルサイズ RFID ラベル用紙プリンター] のように入力することをおすすめします。

- 2) [OK] をクリックします。

3. [デバイスとプリンター] 内に、プリンターが登録されていることを確認します。

2.2 用紙を設定する

弊社製の IC カードラベル 2 つ折り、および IC ラベルを使用する場合は、複合機やプリンターの操作パネルで用紙種別を次のとおりに設定してください。

注記

- 画質を正しく保つためには、転写出力調整値、または転写電圧オフセット値を初期設定値より高くする必要があります。初期設定値のまま、または初期設定値より低くした場合は、画質不良の原因になります。

複合機の場合

設定項目	設定値
用紙種別	厚紙 2
転写出力調整	初期設定値 (0) を +5 ~ +10 に設定してください。 設定値は、画像を見ながら調整してください。

補足

- 設定方法は、複合機のマニュアルを参照してください。
- 用紙種別を [厚紙 2]、転写出力調整値を [+10] に設定しても、転写出力が不足する場合は、用紙種別を [厚紙 2 裏] に設定し、ふたたび転写出力調整値を調整してください。

プリンターの場合

設定項目	設定値
用紙種別	厚紙 2
転写出力オフセット	初期設定値 (+6) を +11 ~ +16 に設定してください。 設定値は、画像を見ながら調整してください。

補足

- 設定方法は、プリンターのマニュアルを参照してください。

2.3 ソフトウェアをインストールする

注記

- Microsoft .NET Framework 3.5 の有効化またはインストールが必要です。次の URL で、有効になっているかを確認してください。
[https://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/hh506443\(v=vs.110\).aspx](https://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/hh506443(v=vs.110).aspx)
- インストールには、管理者権限が必要です。

1. IC カード・ラベル発行システムのホームページから、インストーラー (setup.exe) をダウンロードします。

お使いのコンピューターの OS に対応したインストーラーをダウンロードしてください。

注記

- 対象の OS 以外で実行した場合はエラーメッセージが表示され、インストールできません。

2. [次へ] をクリックします。

3. 次の操作をします。

1) [使用許諾契約] を確認し、[使用許諾契約の全条項に同意します] を選択します。

2) [次へ] をクリックします。

インストールが開始されます。

4. [完了] をクリックします。

3 券面作成ソフトウェア

3.1 券面作成ソフトウェアとは

券面作成ソフトウェアでできること

券面作成ソフトウェアでは、ユーザー情報ファイルをもとに、実際に印刷する券面レイアウトを作成できます。また、作成したレイアウトを複合機で印刷できます。



3.2 起動と終了

起動する

1. スタートメニューから、[すべてのプログラム] > [FUJIFILM] > [券面作成ソフトウェア] をクリックします。



- デスクトップのショートカットアイコンをダブルクリックすることでも、起動できます。

終了する

1. [ファイル] > [終了] をクリックします。または、画面右上の [×] ボタンをクリックします。

3.3 ユーザー情報ファイル（CSV ファイル）を作成する

ユーザー情報ファイルとは

ユーザー情報ファイルは、券面に配置する項目（券面アイテム）を定義するファイルです。

ユーザー情報ファイルは、文字コードが Shift_JIS、カンマ区切りの CSV 形式で作成します。

券面アイテムには、券面に挿入する文字列、およびイメージファイルのパスを定義します。券面作成ソフトウェアがユーザー情報ファイルを読み込むと、ヘッダー行の文字列が、[挿入]メニューのプルダウンメニューとして追加されます。追加されたメニューで配置した券面アイテムには、ユーザー情報ファイルから読み込んだ情報が挿入され、プレビュー領域に表示されます。

券面情報ファイルの作成例は、次のとおりです。

名前(ローマ字),氏名(フリガナ),名称,区分,ID,発行日,有効期限,顔写真	ヘッダー行	1行レコード
富士 未来,Miku Fuji,フジ ミク,富士未来大学,文学部,7000123,2012年12月01日,発行,2015年03月31日,返有効,000123.jpg		
横浜 真,Minato Yokohama,ヨコハマ ミナト,富士未来大学,理工学部,7001000,2013年04月01日,発行,2015年12月31日,返有効,001000.jpg		
緑 みどり,Midori Fuji,フジ ミドリ,富士未来大学,経済学部,9000045,2013年06月21日,発行,2016年06月30日,返有効,000045.jpg		
緑二 花子,Hanako Fuji,フジ ハナコ,富士未来大学,法学部,9002048,2013年06月21日,発行,2016年06月30日,返有効,002048.jpg		
横浜 仲夏,Oyuuka Yokohama,ヨコハマ チュウカ,富士未来大学,理工学部,8002022,2013年04月01日,発行,2016年08月30日,返有効,002022.jpg		
富士 みなと,Minato Fuji,フジ ミナト,富士未来大学,情報学部,5002001,2013年09月01日,発行,2015年04月01日,返有効,002001.jpg		
港 未来,Mirai Minato,ミナト ミライ,富士未来大学,医学部,5002034,2013年11月01日,発行,2016年03月31日,返有効,002034.jpg		

券面に配置する項目を定義する

1. 券面に載せる情報を決めます。

「名前」、「名称」、「区分」、「ID」、「発行日」、「顔写真」を掲載することに決めます。以降、これらの項目を定義する例で説明します。

2. ヘッダー行を作成します。

カンマ区切りの CSV ファイルとして、1行目に次のように入力します。

名前, 名称, 区分, ID, 発行日, 顔写真

補足

- 券面作成ソフトウェアで、[挿入]メニューに追加できる券面アイテムは、最大 50 アイテムです。

3. レコード行を作成します。

手順 2 に続けて、2 行目以降にデータを入力します。

ヘッダー行：名前, 名称, 区分, ID, 発行日, 顔写真

レコード行：富士 未来, 富士未来大学, 文学部, 7000123, 2016 年 12 月 01 日 発行, 00123.jpg

補足

- 入力可能なレコード数は、最大 5,000 レコードです。

4. 文字コードが Shift_JIS、カンマ区切りの CSV 形式として保存します。

券面情報ファイルの注意点

- 1つのレコードは行の先頭から改行文字またはファイル末尾までです。
- カラム区切りはカンマ固定です。
- 末尾行または中間行が空行であった場合は無視されます。
- カラムが不足しているレコードが存在した場合は、券面情報ファイルの読み込みエラーとなります。
- 文字列に半角ダブルクォーテーション「"」を含める場合、その直前に1つ半角ダブルクォーテーションを付加してダブルクォーテーションを2つ並べた上で、該当データを半角ダブルクォーテーション「"」で囲みます。データを半角ダブルクォーテーション「"」で囲んだ場合、先頭と末尾の半角ダブルクォーテーション「"」は、無視されます（例：「"注意書き"」を入れること「"」→「注意書き"を入れること」）。
- 文字列に「#」を含める場合、文字列を「#」で挟まないでください（正しくない例：「#更新日時#」）。
- エンコードソフトウェアのレコード一覧画面では、券面情報ファイルの「名前」カラムの内容が表示されます。「名前」カラムがない場合は、券面情報ファイルの左端のカラムの情報（書き込みデータカラムを除く）が表示されます。
- Microsoft Excel や同等機能を持つソフトウェアを使用して CSV 形式を保存すると、カンマ区切りがカンマ以外に変更されたり、禁止記号が追加されたりして、CSV ファイル形式として成り立たなくなる場合があります。保存する場合は注意してください。
- 先頭に「0」を使用している文字列がある場合、Microsoft Excel で開くと0が消去されることがあります。

3.4 券面レイアウトを作成する

券面レイアウトを新規作成する

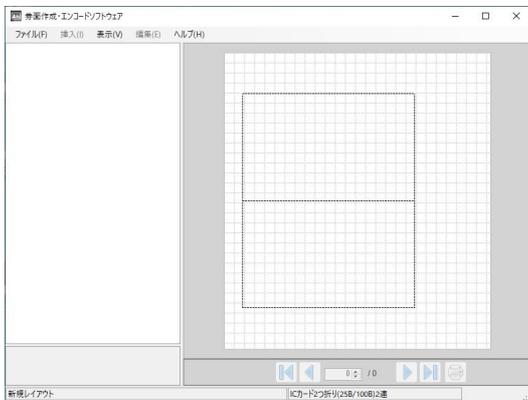
用紙サイズの選択

1. [ファイル] メニューから [新規レイアウトの作成] を選択します。
2. 次の操作をします。

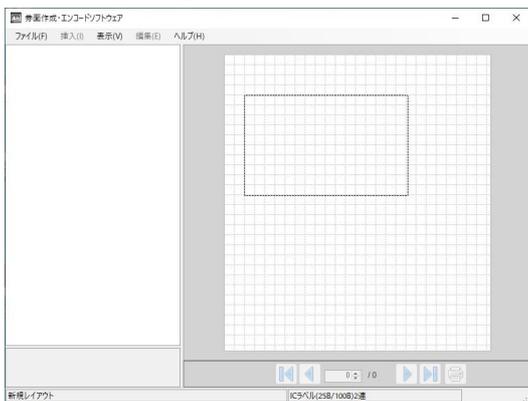


- 1) [用紙サイズ] で、使用する用紙種類を選択します。

- IC カード 2 つ折り



- IC ラベル



- 2) [OK] をクリックします。

ユーザー情報ファイルを読み込む

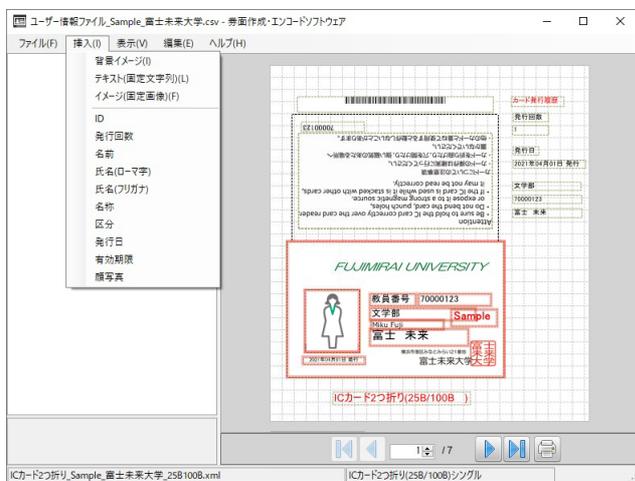
操作手順

1. [ファイル] メニューから [ユーザー情報の読み込み] を選択します。
2. [ユーザー情報ファイルの読み込み] ダイアログボックスで、次の操作をします。
 - 1) 事前に作成したユーザー情報ファイル (CSV ファイル) を選択します。
 - 2) [開く] をクリックします。
3. [挿入] メニューに、読み込んだファイルのヘッダー行が反映されていることを確認します。

券面アイテムを配置する

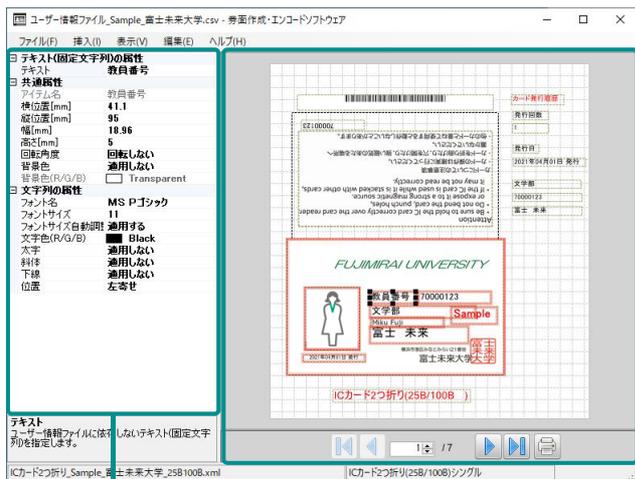
[挿入] メニューから、券面アイテムを読み込んで配置します。

アイテムごとの詳しい操作方法は、「3.5 券面アイテムを配置する」(P.25) を参照してください。



券面アイテムを編集する

券面アイテムは、プレビュー領域のマウス操作やキーボードの上下左右キー操作で、位置やサイズを変更できます。また、プロパティ領域では、選択されている券面アイテムのすべての属性を変更できます。



プレビュー領域

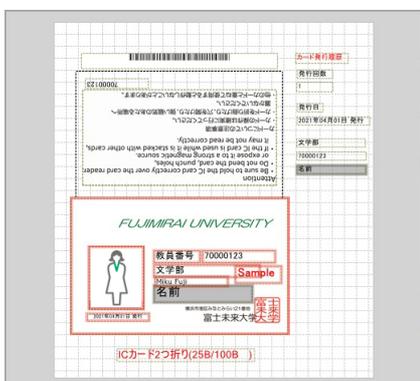
プロパティ領域

補足

- イメージが表示されない場合、ファイルパスが間違っているか、ファイルが存在しない可能性があります。



- アイテム枠が赤くなっている箇所は、アイテム枠同士が重なっています。文字やイメージなどの欠けや消え、アイテムの位置などを、用紙プレビュー画面で必ず確認してください。
- アイテム枠が灰色になっているアイテムは、券面情報ファイルに存在しません。読み込んだ券面情報ファイルとレイアウトファイルが正しいか、必ず確認してください。灰色のアイテムがある状態では券面レイアウトを印刷できません。灰色のアイテムは通常の券面アイテムと同じように削除できます。



3.5 券面アイテムを配置する

背景イメージを配置する

1. [挿入] メニューから [背景イメージ] をクリックします。

2. 背景イメージを選択します。

1) 読み込む画像ファイルを選択します。



- 対象のファイル形式は、BMP、JPG、PNG、TIFF(LZW 圧縮)、EMF、WMF です。

2) [開く] をクリックします。

3. 必要に応じて、次の設定をします。

項目	設定内容
[位置 (左上)]	左上から何 mm の位置に背景画像を配置するかを設定します。位置は挿入後も変更できます。
[幅] / [高さ]	画像の幅と高さを指定します。
[回転角度]	[回転しない]、[右に 90 度]、[左に 90 度]、[180 度] から選択します。
[カードサイズにフィットさせる]	チェックマークを付けると、背景画像を縮小または拡大し、自動でカードサイズと背景画像の大きさを合わせます。 補足 • この項目を選択している場合は、画像の位置やサイズを変更できません。
[背景色]	チェックマークを付けると、背景画像の余白部分を指定された色で塗りつぶします。チェックマークを付けた状態で [選択] をクリックすると、背景色を選択できます。
[縮小 / 拡大の原点]	縮小または拡大の原点の位置を指定します。

4. [OK] をクリックします。

背景イメージが挿入されます。

5. プレビュー領域で画像をドラッグするか、プロパティ領域で数値を変更して、位置やサイズを調整します。



- 背景イメージは、IC カードラベルサイズより 1 ~ 2 mm 程度大きくすると、印刷ずれなどが発生しても、イメージ欠けを防げます。

テキスト（固定文字列）を配置する

1. [挿入] メニューから [テキスト（固定文字列）] を選択します。
2. [テキスト] に挿入したい文字列を入力します。
3. 必要に応じて、次の設定をします。

項目	設定内容
[位置 (左上)]	左上から何 mm の位置に文字列を配置するかを設定します。位置は挿入後も変更できます。
[幅] / [高さ]	画像の幅と高さを指定します。
[回転角度]	[回転しない]、[右に 90 度]、[左に 90 度]、[180 度] から選択します。
[背景色]	チェックマークを付けると、背景画像を指定された色で塗りつぶします。チェックマークを付けた状態で [選択] をクリックすると、背景色を選択できます。
[フォント名]	フォントを選択します。
[サイズ]	フォントサイズを選択します。
[自動調整]	指定されたフォントサイズではテキスト表示領域からはみ出してしまう場合、全体を表示できるようにフォントサイズを自動で調整します。
[文字色]	文字の色を指定します。[選択] をクリックすると、文字色を選択できます。
[位置]	[左寄せ]、[右寄せ]、[中央]、[均等割り付け] から選択します。
[太字]	チェックマークを付けると、太字になります。
[斜体]	チェックマークを付けると、斜体になります。
[下線]	チェックマークを付けると、下線が入ります。

4. [OK] をクリックします。
テキストが挿入されます。
5. プレビュー領域で画像をドラッグするか、プロパティ領域で数値を変更して、位置やサイズを調整します。

 **補足**

- テキスト内は改行ができません。
 - テキスト内での文字サイズや色などの属性は複数指定できません。変更が必要な場合は、複数のテキストを挿入してください。

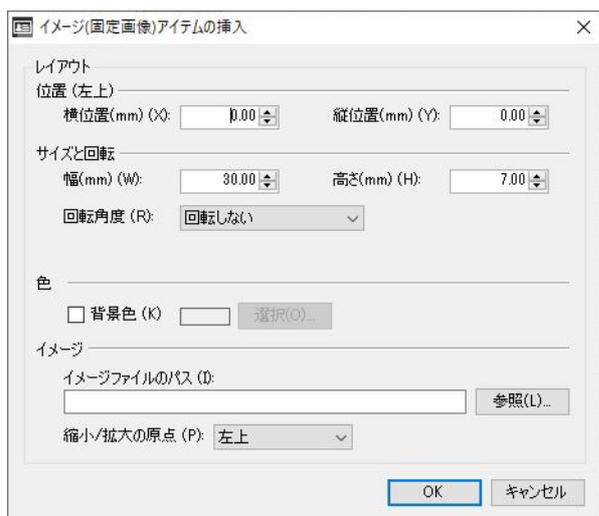
固定の画像を配置する

1. [挿入] メニューから [イメージ (固定画像)] をクリックします。
2. 次の操作をします。
 - 1) 読み込む画像ファイルを選択します。
3. 必要に応じて、次の設定をします。

 **補足**

- 対象のファイル形式は、BMP、JPG、PNG、TIFF(LZW 圧縮)、EMF、WMF です。

- 2) [開く] をクリックします。



項目	設定内容
[位置 (左上)]	左上から何 mm の位置に画像を配置するかを設定します。位置は挿入後も変更できます。
[幅] / [高さ]	画像の幅と高さを指定します。
[回転角度]	[回転しない]、[右に 90 度]、[左に 90 度]、[180 度] から選択します。
[背景色]	チェックマークを付けると、画像の余白を指定された色で塗りつぶします。チェックマークを付けた状態で [選択] をクリックすると、背景色を選択できます。
[縮小 / 拡大の原点]	縮小または拡大の原点の位置を指定します。

4. [OK] をクリックします。
画像が挿入されます。
5. プレビュー領域で画像をドラッグするか、プロパティ領域で数値を変更して、位置やサイズを調整します。

ユーザー情報ファイルに定義したアイテムを配置する

1. [挿入] メニューから、挿入したい項目を選択します。
2. 挿入するアイテムの設定をします。

券面アイテムの挿入 : 顔写真

レイアウト

位置 (左上)

横位置(mm) (X): 0.00 縦位置(mm) (Y): 0.00

サイズと回転

幅(mm) (W): 30.00 高さ(mm) (H): 7.00

回転角度 (R): 回転しない

色

背景色 (K) 選択(O)...

文字列 (S)

フォント名 (F): MS Pゴシック

サイズ (Z): 11 自動調整 (A)

文字色: 黒 選択(T)...

位置 (C): 左寄せ

太字 (B) 斜体 (I) 下線 (U)

イメージ (G)

イメージ格納フォルダー (D): 参照(L)...

縮小/拡大の原点 (P): 左上

OK キャンセル

1) レイアウトを設定します。

項目	設定内容
[位置 (左上)]	左上から何 mm の位置にアイテムを配置するかを設定します。位置は挿入後も変更できます。
[幅] / [高さ]	アイテムの幅と高さを指定します。
[回転角度]	[回転しない]、[右に 90 度]、[左に 90 度]、[180 度] から選択します。
[背景色]	チェックマークを付けると、アイテムの余白を指定された色で塗りつぶします。チェックマークを付けた状態で [選択] をクリックすると、背景色を選択できます。

文字列のアイテムを挿入する場合

- 2) [文字列] を選択します。
- 3) 必要に応じて、次の設定をします。

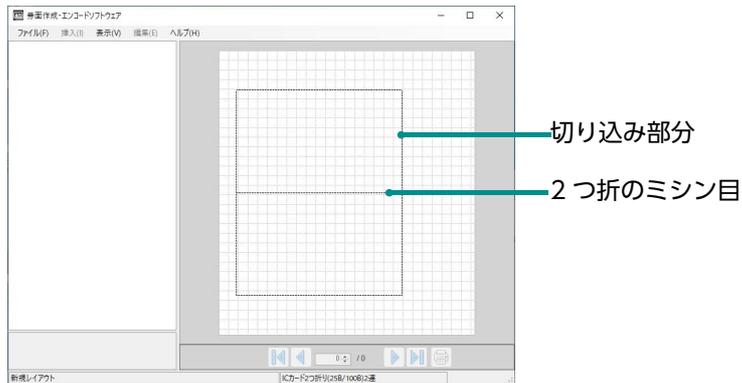
項目	設定内容
[フォント名]	フォントを選択します。
[サイズ]	フォントサイズを選択します。
[自動調整]	指定されたフォントサイズではテキスト表示領域からはみ出してしまう場合、全体を表示できるようにフォントサイズを自動で調整します。
[文字色]	文字の色を指定します。[選択] をクリックすると、文字色を選択できます。
[位置]	[左寄せ]、[右寄せ]、[中央]、[均等割り付け] から選択します。
[太字]	チェックマークを付けると、太字になります。
[斜体]	チェックマークを付けると、斜体になります。
[下線]	チェックマークを付けると、下線が入ります。

画像のアイテムを挿入する場合

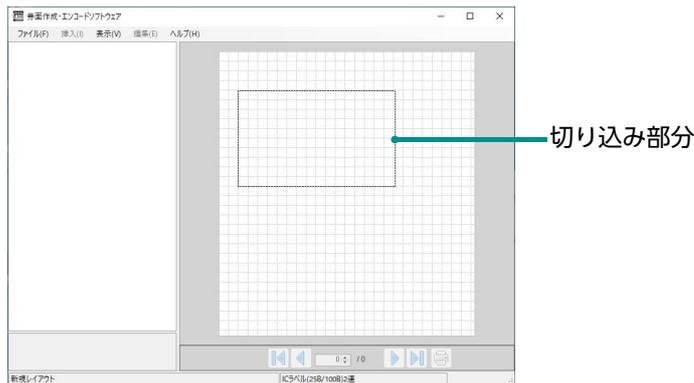
- 2) [イメージ] を選択します。
 - 3) [参照] をクリックし、挿入する画像が格納されたフォルダーを選択します。
 - 4) 拡大、縮小の原点の位置を選択します。
3. [OK] をクリックします。
アイテムが挿入されます。
アイテムに対応するデータがユーザー情報ファイルから読み込まれて、プレビュー領域に表示されます。
4. プレビュー領域で画像をドラッグするか、プロパティ領域で数値を変更して、位置やサイズを調整します。

券面アイテムを配置するときの注意点

- 複合機には、印字できない領域があります。お使いの複合機のマニュアルなどで確認してください。
- 複合機を共有設定にしている、印刷位置を変更できない場合は、券面イメージをずらして調整してください。
- 複合機の種類によって、印刷位置がずれることがあります。その場合は、複合機の印刷位置設定を調整してください。
- 用紙上のカード型の切れ込み部分や2つ折りのミシン目に印刷すると、トナーが用紙に定着できず、用紙が汚れることがあります。
 - ICカード2つ折りの場合



- ICラベルの場合



- 券面アイテムは、最大50個配置できます。
- 1つの券面アイテムを複数個所で使用できます。複数使用してもアイテム数には加算されません。
例：IDというアイテムを券面と裏面に用いる。
- 券面アイテムは、ICカードラベルのエリア外に配置できます。
例：ICカードラベルのエリア外に、券面情報などの内容を残したり、コメントなどに使用したりする。
- ICカードラベルのエリア外に配置した文字列や券面アイテムは、ICカードラベルを剥がしたあとのICカードラベル用紙に残ります。

3.6 券面レイアウトを読み込む

1. [ファイル] メニューから [レイアウトの読み込み] をクリックします。
2. 「編集中のレイアウトを削除しますか？」というメッセージを確認し、[はい] をクリックします。
3. [レイアウトの読み込み] ダイアログボックスで、次の操作をします。
 - 1) レイアウトファイルを選択します。
 - 2) [開く] をクリックします。
4. [ファイル] メニューから [ユーザー情報ファイルの読み込み] をクリックします。
5. [ユーザー情報ファイルの読み込み] ダイアログボックスで、次の操作をします。
 - 1) ユーザー情報ファイルを選択します。
 - 2) [開く] をクリックします。
6. 編集する場合は、属性の編集やマウス操作による編集をします。

旧バージョンで作成したレイアウトを読み込む場合

バージョン 3.0.0 以前の券面作成ソフトウェアで作成したレイアウトを読み込む場合、次の項目を自動で調整できます。

- 用紙レイアウトの調整

レイアウトファイルを開くときに、新しい用紙レイアウトに合わせてレイアウト調整するかを問い合わせるメッセージが表示されます。[はい] をクリックすると、レイアウトが自動で調整されます。

用紙のうら面を確認し、「B」と記載されている場合はレイアウトを調整してください。

用紙レイアウトは、レイアウトファイルを開いたあとで、[編集] > [新用紙レイアウト (25B/100B) に自動調整] を実行することでも調整できます。

補足

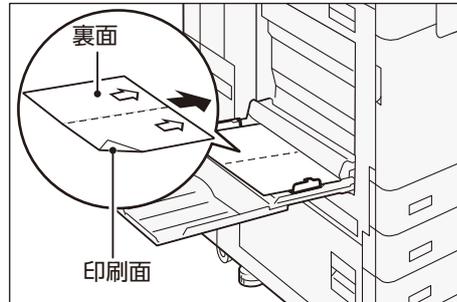
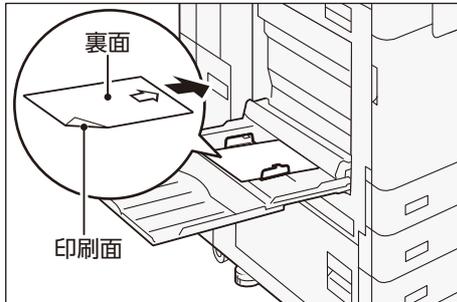
- 調整された用紙レイアウトは、保存するまではレイアウトファイルに反映されません。

3.7 複合機に用紙をセットする

1. 手差しトレイに、カードラベル用紙（2連用紙またはシングル用紙サイズ）をセットします。
用紙裏面の矢印に従ってセットしてください。

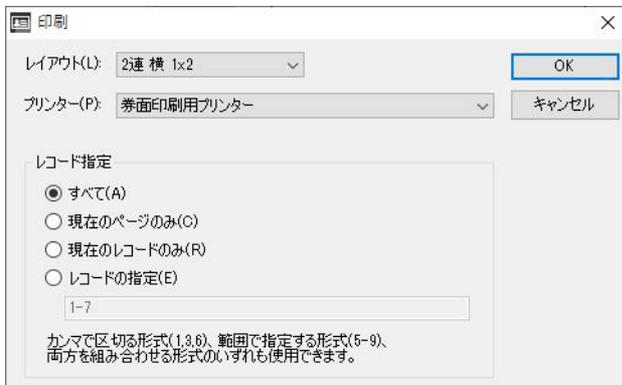
 **注記**

- セット時の印刷面の裏表は、機種によって異なります。お使いの機種の取扱説明書をご確認ください。



3.8 券面レイアウトを印刷する

1. 「3.7 複合機に用紙をセットする」(P.32) の手順で、複合機に用紙をセットします。
2. [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。
3. 次の操作をします。



- 1) [レイアウト] で、プリンタードライバーで設定してあるレイアウトサイズを指定します。
- 2) [プリンター] で、印刷する複合機を選択します。
- 3) [レコード指定] で、印刷するレコードを指定します。
- 4) [OK] をクリックします。
印刷が開始します。

補足

- 印刷した券面は、イメージログとしてインストールフォルダーの「ImageLog」フォルダーに保存されます。ファイル形式は JPG です。

3.9 券面レイアウトを保存する

1. [ファイル] メニューから [レイアウトの保存] または [レイアウトを別名で保存] をクリックします。

 **補足**

- [レイアウトの保存] を選択すると、レイアウトを上書き保存します。[レイアウトを別名で保存] をクリックすると、レイアウトを別のファイルに保存します。

3.10 券面レイアウトを DocuWorks 文書として保存する

券面作成ソフトウェアを使用しているコンピューターに、DocuWorks Desk がインストールされている場合、作成した券面レイアウトを、DocuWorks 文書として保存できます。

補足

- この機能では、券面のイメージだけを DocuWorks 文書として保存します。DocuWorks 文書として保存した券面を印刷しても、IC カードラベルとして使用できません。

1. [ファイル] メニューから [レイアウトの DocuWorks 保存] をクリックします。
2. [レコード指定] で、保存するレコードを選択します。
3. [OK] をクリックします。

DocuWorks Desk に、券面レイアウトが保存されます。

ファイル名は、レイアウトファイル名と同じで、拡張子が「.xdw」です。

補足

- DocuWorks 文書として保存する場合、2 連レイアウトでは保存できません。

3.11 券面レイアウトを用紙プレビューで表示する

用紙プレビューでは、券面レイアウトと用紙定義に従って、用紙の実際の印刷プレビューを表示します。

1. [表示] メニューから [用紙プレビュー] を選択します。



プレビュー領域と同様にボタン操作でレコードの移動が可能です。

補足

- 用紙プレビュー画面で、アイテム枠内の文字などが欠けていないか、枠からはみ出した文字が消えていないか、重なりや位置ずれがないかなどを必ず確認してください。

4 こんなときには

OpenType フォントが選択できない

Windows で正式にサポートされている True Type フォントを使用してください。

本ソフトウェアで使用している Windows の描画ロジック GDI + で、正式にサポートしているフォントは True Type フォントだけです。OS のバージョンによって、描画ロジックのバージョンが異なり、Open Type フォントの対応状況が異なっているため、一部のフォントが表示されず、利用できないことがあります。

印刷画面でプリンターが表示されない

- 券面作成ソフトウェアが動作している環境に、弊社製プリンタードライバーがインストールされていますか？
弊社製プリンタードライバーがインストールされているか確認してください。
- 対応していない機種ではありませんか？
販売店に対象機種を確認してください。
- IC カードラベル用のプリンター設定になっていますか？
プリンターの設定は、「2.1 プリンターを登録する」(P.6) を確認してください。
- プリンタードライバーは最新のバージョンですか？
最新のドライバーは、弊社の公式 HP を参照してください。
<https://www.fujifilm.com/fb/>

券面レイアウトの印刷の品質に問題がある

- 印刷するプリンターを変更してください。
本ソフトウェアで、該当レコードを別のプリンターで再印刷してください。
- 印刷するプリンタードライバーのグラフィックスの設定を変更してください。
券面作成ソフトウェアでは、印刷するプリンタードライバーのグラフィックスの設定は変更しないで、該当プリンターアイコンのグラフィックス設定のまま印刷します。
- 券面アイテムがプリンターの物理的な描画領域外に配置されていませんか？
該当プリンターアイコンに設定されている余白を確認し、プレビューエリアで券面アイテムの配置を調整してください。
- 印刷された券面情報がずれていませんか？
券面情報がずれている場合、プリンターの IC カードラベルの給紙位置を確認してください。
プリントの位置調整をしたために券面情報がずれた場合は、設定を元に戻してください。
- プリンターの IC カードラベル用の設定が正しいか、ドライバー設定を確認してください。

1 枚の用紙に複数の券面レイアウトを印刷したが、片方の印刷品質に問題がある

- 印刷品質に問題があったレコードを再印刷してください。
本ソフトウェアで、該当レコードを再印刷してください。[エンコーダー] 画面の [再印刷] を使用した場合、用紙サイズの変更はできません。2 連用紙の場合、1 レコードのときは、2 連用紙の片面に印刷されます。

ご意見、ご相談などは、お客様相談センターにご連絡ください。

電話　　：0120-27-4100

ファクス：0120-05-5035

受付時間：9時から12時、13時から17時（土・日・祝日および弊社指定休業日をのぞく）
フリーダイヤルは、海外からはご利用いただけません。また、一部のIP電話からはつながらない場合があります。
お話の内容を正確に把握するため、また後に対応状況を確認するため、通話を録音させていただくことがあります。